

『さっきやま魂』

R4. 10.11 第9号

発行人：校長 中山 未永

「1周でもいいから・・・」



運動会が終わり、学校生活にもゆとりが感じられるようになりました。また、厳しい暑さからも開放され、子ども達の心と体を鍛える絶好の時期になってきたと感じています。

早速、10月から「朝の走ろう運動」を再開しました。嬉しいことに、登校時刻が早くなり、張り切って運動場を走ったり、花に水やりをしたりするなど、朝の活動も充実してきました。

「校長先生、1周走ってきたよ！」

「うん、それでいいよ！」

運動場から教室に戻る子ども達は、とても良い表情をしています。朝から体を動かすことで、集中力も高まり、錬磨タイムから100%の力で臨めるのではないかと期待しています。

これからも、2学期の重点指導事項「1日1周でもいいから、毎日走ることを重視する」を意識した取組を進めていきます。

校長室前のカウンタダウンボードは、「運動会」から「記録会」に変わっています。そのことに気づいた子どもの、「え～、また走るの～」というつぶやきが校長室まで聞こえてきました。月1回の「持久走記録会」は、子どもにとって、苦しいだけの時間なのかもしれませんが、苦しさを乗り越えたときの達成感は、好き・嫌いに関係なく、全員が感じる事ができるはずです。

「苦しいことにも前向きに挑戦する」「きつくて最後まであきらめない」そのような、たくましい心をもった子どもを育てたいと考えていますので、保護者の皆様のご協力（早めの登校・走運動への励まし）をお願いします。

自分の命は自分で守る！

9月30日（金）第2回避難訓練を実施しました。今回の訓練は、地震が発生した場合の避難の仕方を学ぶものでした。1回目と違って、「実施日を知らせずに掃除の時間帯に実施する」という計画だったので、子ども達自身が、自分で考え行動する場面がありました。うまく避難できるか心配でしたが、子ども達は、放送や指示を静かに聞き、約束を守って慌てず落ち着いて行動することができました。運動場に避難した後は、「津波」を想定し、より高い場所に避難するために学校前の坂道を駆け上がって行きました。坂道を走るということで、予想以上に息も上がっていましたが、無事に二次避難場所まで移動することができました。



この訓練で嬉しかったことは、子ども達の行動がきびきびとしていたということです。避難にかかった時間も、前回よりずいぶん早くなっていました。

もう一つは、話の聞き方です。走って避難して疲れているにも関わらず、きちんと話す人の顔を見ながら聞くことができていました。子ども達の表情から、その心もしっかり感じ取ることができました。

私たちの身の回りには、様々な危険が潜んでいます。そのような危険から大切な命を守るためには、「自分で危険に気づき・落ち着いて考え・すばやく行動する力」が必要になります。まずは、変化に気づく力をしっかり育てていきたいと考えています。